

1月18日

第7回 比較防災学ワークショップ

7th Workshop for "Comparative Study on Urban Earthquake Disaster Management"

みんなで防災の知恵を共有しよう



日本から世界へ 災害脆弱性の改善にむけた取り組み

10:00	挨拶・趣旨説明	東京大学生産技術研究所 目黒公郎
10:05	最近の途上国の自然災害に対してSVAが行ってきた支援活動	(社)シャンティ国際ボランティア会(SVA) 鈴木晶子
10:20	CODEが取り組むくらしの再建 ～安心・安全なすまいとは？	CODE海外災害援助市民センター 吉椿雅道
10:35	100ドル耐震補強：最近の活動	東京大学生産技術研究所 目黒公郎
10:50	長期的津波監視の維持を重視した地震津波被害軽減システムの提案	富士常葉大学大学院環境防災研究科 高島正典
11:05	建物の災害脆弱性の改善に向けたわが国の取り組み	政策研究大学院大学 岡崎健二
11:20	インドネシアにおける地盤調査技術協力と学生による防災教育支援活動	京都大学工学研究科 清野純史
11:35	総合討論	
11:55	閉会の挨拶	
12:00	終了	

「災害対応研究会」公開シンポジウム へ
「国民保護を考える」

13:30	一元的な危機対応体制と国民保護計画	京都大学防災研究所 林 春男
14:15	組織と空間	京都大学防災研究所 牧 紀男
15:00	(休憩)	
15:15	マニュアルと情報	京大大学生存基盤科学研究ユニット 浦川 豪
16:00	啓発と訓練	新潟大学災害復興科学センター 田村圭子
16:45	質問と討論	
17:00	終了	

京都大学防災研究所巨大災害研究センター (DRS)
 東京大学生産技術研究所・都市基盤安全工学国際研究センター (ICUS)
 京都大学防災研究所21世紀COEプログラム
 文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクト -3
 後援：日本自然災害学会・地域安全学会

1月19日

第7回 比較防災学ワークショップ

7th Workshop for "Comparative Study on Urban Earthquake Disaster Management"

みんなで防災の知恵を共有しよう



Toward comparative study on long-term recovery from disaster: Learning from lessons in U.S.
 「比較復興学の試み - 米国の復興事例に学ぶ - 」

- 10:00 Welcoming and Introductory Remarks/ 開会にあたって**
 Yoshiaki Kawata, Director, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University/
 河田恵昭 (京都大学防災研究所長)
- 10:10 “Recovering: values and approaches in New York after 9/11/01” / 911 同時テロからのNew Yorkの復興の現状:その方法と特色**
 David Mammen - Visiting Professor, Research Center for Disaster Reduction Systems,
 Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University /
 デイビッド・マメン (京都大学防災研究所巨大災害研究センター客員教授)
- 10:50 “Planning for the Rebuilding of New Orleans” / ハリケーンカトリーナからNew Orleans の再建計画を巡って**
 Robert Olshansky -Professor, University of Illinois at Urbana-Champaign/
 ロバート・オーシャンスキー (イリノイ大学アーバナ・シャンペイン校・教授)
- 11:30 Discussion /総合討論**
 Moderator /モデレーター : Norio Maki, Assistant Professor, DRS, DPRI, Kyoto University /
 牧 紀男 (京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 助教授)
 Panelist /パネリスト : David Mammen/ デイビッド・マメン, Robert Olshansky / ロバート・オーシャンスキー
- 12:00 Lunch /昼食休憩**

シンポジウム: 「生活復興調査」を通して見た阪神・淡路大震災からの復興過程

- 13:00** 草の根検証作業から生まれた生活復興調査の調査フレーム: 林 春男 (京都大学防災研究所)
- 13:25** 生活再建7要素モデルの発見: 田村圭子 (新潟大学災害復興科学センター)
- 13:40** 被災後のすまいの変遷: 木村玲欧 (名古屋大学環境学研究科)
- 13:55** 被災後のまちの復興: 野田 隆 (奈良女子大学人間文化研究科)
- 14:10** (休憩)
- 14:30** 生活復興感の測定: 矢守克也 (京都大学防災研究所)
- 14:45** 被災後の家計・くらしむき: 田村圭子 (新潟大学災害復興科学センター)
- 15:00** 復興カレンダー: 木村玲欧 (名古屋大学環境学研究科)
- 15:15** 復興パネル調査: 黒宮亜希子 (吉備国際大学社会福祉学部)
- 15:30** 生活復興モデルの検証: 立木茂雄 (同志社大学社会学部)
- 15:45** 調査結果の震災復興施策への反映と教訓の継承: 松久士朗 (兵庫県県土整備部復興局復興推進課)
- 16:00** (休憩)
- 16:20 全体討議**
 コーディネーター: 林 春男
 パネリスト: 田村圭子、木村玲欧、野田 隆、矢守克也、黒宮亜希子、立木茂雄、松久士朗
- 17:00 終了**

京都大学防災研究所巨大災害研究センター (DRS)
 東京大学生産技術研究所・都市基盤安全工学国際研究センター (ICUS)
 京都大学防災研究所21世紀COEプログラム
 文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクト -3
 後援: 日本自然災害学会・地域安全学会

2007.1/18~19
 神戸国際会議場 5階 501会議室
 神戸市中央区港島中町6-9-1 TEL: 078-302-5200